

2026年度 公民科と家庭科の先生のための連携 金融経済教室 実施報告

【開催日時】 2026年8月8日（土）9時30分～16時00分

【場 所】 ホテルライフオー・札幌

【講演】「激動の時代を生き抜く子供たちの金融経済教育とは」

— 作家・元外務省主任分析官 佐藤 優 氏 —

高校における金融経済教育の担い手である公民科と家庭科の教員が連携し、多面的な理解と学びを促す勉強会において、佐藤 優氏を招いて講演を実施いたしました。

講演では、現在に至るまで日本が数々の危機をどのように乗り越えてきたのか、分かりやすく解説されたうえで、両親の戦争体験談を交え、激動の時代を生き抜くためには、自分の頭で考え判断を下せるような教育こそ必要、と説かれました。

そのうえで子供たちにとって金融リテラシーは必要であることに加え、情報学と連携した数学、および簿記の知識があれば社会の流れも読み取れるようになると、学ぶうえでの勘所も付言されました。

参加者と質疑応答も行われ、ものごとを多元的に捉えること、教育とは知識の押し付けではなく、education の語源である“引き出す”こと、などの言葉が、参加者に響いたようです。

オンライン参加者を含め道内外から家庭科・公民科の高等学校教職員のほか、大学教員や出版会社など、40名を超える教育関係者の皆様にご参加いただきましたが、講師の溢れる知識に圧倒されながらも、実りの多い講演となりました。



参加者の皆さま、佐藤優さま、ありがとうございました！